

**令和 6 年度**  
**特定非営利活動法人小児救急医療サポートネットワーク**

**第 10 回定期総会議案**

日 時：令和 6 年 5 月 18 日（土）15 時 00 分～16 時 00 分  
場 所：大阪府教育会館 たかつガーデン  
【大阪市天王寺区東高津町 7 番 11 号】

**総会次第**

1. 議長の選任
2. 代表挨拶
3. 議事

第 1 号議案 2023 年度事業報告及び決算報告について

第 2 号議案 2024 年度事業計画案及び予算案承認の件

第 3 号議案 2024 年度理事改選の件

第 4 号議案 役員報酬の承認に関する件

第 5 号議案 議事録署名人選任の件

第 6 号議案 その他

# 令和5（2023）年度 事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

## I. 総括

令和5（2023）年度事業計画は、事務局メンバーの交代と新規加入のもと電話相談事業拡張を視野に入れつつ引き続き円滑な運営を行うこと、大阪府における小児救急医療や子育てに貢献できるように他の医療機関と連携すること、NPO法人としての活動を強化するという以下の3点を目標とした。

今年度は5月に新型コロナウイルス（以下 COVID-19）感染症分類が5類に変更されたことを受け、COVID-19の影響は減ったが様々な感染症が流行し、相談は多かった。昨年度末に行った話中電話の調査結果から、10月と11月の2ヶ月間19時台を4回線に変更して受け入れ件数の変化を検討した。昨年度行った産婦人科医アンケート結果も踏まえ、新生児受け入れ可能な小児科医リストを作成し、ホームページに掲載した。#8000事業とNPOの活動との関係性について大阪府から指摘があり、ホームページの文言修正を行った。電話相談では、最初から受診先案内を求める保護者や対応のズレに怒る保護者が目立ち、2月には重大事例も出て、電話相談対応のより一層の研鑽を求められた年度であった。

1. 電話相談事業拡張を視野に入れて、相談の充実を図る
2. 電話相談の知見を活用し、保護者支援の検討・受け入れ機関との連携を模索する。
3. NPO法人としての活動を強化する

1. 当団体の運営により、大阪府小児救急電話相談（#8000）事業を行った。様々な感染症の流行などを受け、相談件数は71,596件と最多の昨年度に引き続き、過去2番目に多い件数であった。
2. 事務局は事務局長が阿部榮子氏から廣岡由紀子氏に交代、更に主任・事務員の3人体制となった。
3. （一社）大阪小児科医会にオブザーバーを依頼し、運営会議および医会会報上で意見交換を行った。重大事例については運営会議での検討と医会の小児救急委員会での報告と意見交換を行った。
4. 毎月大阪府に報告したCOVID-19感染関連の集計は、2023年10月で終了した。
5. 大阪府#8000の電話相談員の研修は、オンラインを併用し、年間5回行った。
6. 10月～11月は、#8000の話中対策のため、19時台を4回線にするシフトを試みた。
7. #8000全国情報センターに9月～11月分の相談に関するデータと、8月～令和6年1月分の話中電話の調査結果を報告した。
8. 9月に開催された第33回日本外来小児科学会では、WSと一般演題に参加した。
9. 新生児を受け入れ可能な小児科医リストを作成し、ホームページに掲載した。
10. 産婦人科アンケート結果について、令和5年度大阪府医師会医学会総会で発表した。
11. #8000事業と当団体の事業との線引きを意識して、ホームページの文言を修正した。
12. 会報「さぼネット通信」初月号を作成し、大阪小児科医会に賛助会員募集案内と共に配布した。
13. クレーム案件や重大事例を受けて、電話相談の研修を強化し、ガイダンスの変更を検討した。
14. 電話相談の環境改善のため、2月よりインカムの使用を導入した。
15. 大阪府#8000の受託事業者について、入札が検討されたが、次年度は従来通りとなった。
16. 保護者への啓発活動について、具体的な発信方法について検討を開始した。

2023年度の課題として、以下が挙げられた。

1. 増加する相談に対して、集中する曜日や時間帯では対応する回線数が不足した
2. 回線の有効活用について、解決が図られなかった。
3. 回線やガイダンスの変更等の際、細かい不具合が生じた。
4. 新生児を受け入れる小児医療機関リストを作成したが、府内全域としては件数が少なく、印刷物配布は延期した。
5. 電話相談に直結したマニュアルは直接販売できないため、当団体としての冊子作成が必要となった。
6. 動画検索作業を今年度は行えなかった。
7. 賛助会員募集を開始したが、応募は数名であった。
8. 初期救急医療機関との連携・薬に関する相談・小児内科以外の診療科の受け入れなど懸案事項は取り組めなかった。
9. 保護者への啓発について、方法や広報などの検討中である。

## II. 各事業報告の詳細

### (1) 小児救急等に関する相談事業

#### ①大阪府小児救急電話相談（#8000）事業

大阪府小児救急電話相談の運営を円滑に遂行することができた。準夜帯 19 時開始、20 時から 4 回線深夜帯 2 回線を維持した。年間相談件数は 71,596 件と最多の昨年度に引き続き、過去 2 番目に多い件数であった。

#### ②相談受付票の電子化事業

新人には無理のない範囲で、継続の相談員で入力できていない場合も、すべての項目の入力ができるよう奨励した。「受診に関して」の項目は定義を明確にし、聞き取りの成果が出るよう促した。往診や医療機関からの案内について項目を設けた。

#### ③データ集計事業

月々のデータ集計結果は毎月の運営委員会で NTT データ関西と大阪府に報告した。（一社）大阪小児科医会にオブザーバーを依頼し、年 2 回の運営委員会での意見交換に加えて、2022 年度の相談事業のまとめについて医会会報に報告した。9 月～11 月の 3 か月間のデータを、日本小児科医会 #8000 情報収集センターに報告した。

### (2) 普及啓発事業

#### ①小児救急電話相談に関する普及啓発事業

HP の文言を修正し、賛助会員対象のページを作成した。保護者や一般を対象にした「お役立ち情報」に、COVID-19 に関する大阪府内小児科標榜機関リストを削除し、日中新生児の受け入れ可能な小児科医リストを新たに掲載した。会員ページの出務表は有効に活用された。会報さぼネット通信初回号を作成した。

#### ②小児救急に関する講座・講師紹介事業

保護者の家庭看護力向上や保育士、#8000 相談員を対象にした講義を行った（表 1）。

#### ③保護者指導に関する冊子等発信方法について、検討を開始した。

表1. 2023 年度講演・講座など一覧表

月日	研修・講演会名	場所	内容
6月12日	大阪府社会福祉協議会	大阪市	保育士研修
9月16日	令和5年度日本小児保健協会 小児救急電話相談スキルアップ研修会	東京都	電話相談基礎コース
5月22日・10月23日 日・1月22日	西宮市ファミリーサポートセンター	西宮市	保育サポーター研修
6月7日・11月 8日・3月15日	箕面市ファミリーサポートセンター	箕面市	保育サポーター研修
10月16日	NHKすくすく子育て収録	東京都	保護者対象番組
11月1日	堺市西区子育て支援センター	堺市	保護者対象啓発講座
11月22日	ぴーかぶー	高槻市	保護者対象啓発講座
11月30日	箕面市子育て支援センターひじり	箕面市	保護者対象啓発講座
3月1日	神戸市ファミリーサポートセンター	神戸市	協力会員研修
10月1日	日本小児科医会 #8000小児科医オンラインセミナー	東京都	一般対象公開講座
6月18日	第70回日本小児保健協会学術集会	川崎市	教育講演
1月28日	鹿児島県#8000相談員研修	鹿児島市	相談員研修
1月13日・2月24日	厚生労働省#8000対応者研修	東京都	全国#8000相談員研修

### (3) 人材養成事業

#### ①電話相談員研修事業

大阪府#8000 相談員を対象とした電話相談の研修は、年間5回ZOOMによるWEBを併用したハイブリッド形式で開催した。うち2回は外部講師を招き、藤谷先生からはアレルギーについて、今田先生からは誤飲・中毒についてお話しいただき、好評であった。2月は、重大事例を受けて、電話相談技術の見直しとクレーム対応の方法について研修を行い、欠席者には録画を配信し、相談員全員に内容の共有を図った。

表2. 2023 年度相談員研修報告

5月20日	たかつガーデン・ZOOM	小児のアレルギー	藤谷宏子	37名
7月2日	上本町事務所	令和4年度のまとめと5年度の予定 新生児マニュアルの活用	福井聖子	13名
10月7日	上本町事務所・ZOOM	第32回外来小児科学会 伝達講習他 外因系疾患	山下治子・福井聖子	28名
11月18日	たかつガーデン・ZOOM	誤飲・中毒について	(公財)日本中毒情報センター 今田優子	32名
2月17日	上本町事務所・ZOOM	重大事例を受けて クレーム対応	福井聖子	29名

#### ②電話対応研修事業

9月9日、横浜市のパシフィコ横浜における第33回日本外来小児科学会にて、午前中ワークショップを行ない、午後には一般演題の報告を行った。

開催日	場所	研修内容	スタッフ	参加人数
9月9日・10日	パシフィコ横浜	第33回日本外来小児科学会 ワークショップ・一般演題	阿部榮子・廣岡由紀子・ 山下治子・坂井利衣・ 福井聖子	WS: 20名

#### (4) 調査・研究事業

##### ①電話相談内容の分析事業

9月9日に第33回日本外来小児科学会で、「外的要因による事象を主訴とする電話相談～令和3年度大阪府#8000の報告～」について発表した。

2022年度小児救急電話相談実績報告書において、年度のまとめを作成し、大阪府に報告した。

(一社)大阪小児科医会の会報206号に2022年度の報告を掲載した。

##### ②新生児受け入れ体制整備事業

産婦人科医を対象にしたアンケート調査結果について、11月5日令和5年度大阪府医師会医学学会総会で発表した。(一社)大阪小児科医会の協力を得て、日中新生児の受け入れ可能な小児科医リストを作成した。

##### ③話中電話検討事業

#8000で受電できない話中電話の件数調査を行い、10月と11月は19時台を4回線にするシフトを試みて、その結果を日本小児科医会#8000情報収集センター事業で報告した。

#### III. 事務局管理に関する事項

事務局長が阿部榮子氏から廣岡由紀子氏に交代し、阿部榮子氏は顧問に、同時に元中野こども病院(現旭こども病院)副委員長の岡府寺美氏も顧問に就任した。芝奈都子氏が事務局主任に昇格し、新たに府川恵理氏が事務員に加わった。

受付票で日頃頻発する入力エラーの修正は事務局スタッフで対応できるが、項目などの大きな改定は専門の技術者が必要であるため容易ではない。費用含め管理体制については今後の課題である。

#### III. 社員総会の開催状況

第9回通常総会 2023年5月20日(土曜日) 14:00~14:30

場所:大阪府教育会館 たかつガーデン

社員総数: 53名 出席者数: 47名(うち委任状出席者19名)

- 内容: 1. 2022年度事業報告・会計報告について  
2. 2023年度事業計画・事業予算について  
3. NPO法人理事の交代について  
4. 定款の変更(理事の交代)について  
5. その他

以上について、承認を得た。

#### IV. 理事会その他の役員会の開催状況

理事会

2023年8月19日(土曜日) 16:00~17:30

場所:上本町事務所 出席:理事5名・監事1名

1. 2022年度事業報告・会計報告について
2. 2023年度事業計画・事業予算について
3. 年間研修計画・実施状況報告
4. 2022年度大阪府#8000の相談とコロナ関係の相談の報告
5. ホームページについて
6. さぼネット通信と賛助会員募集について
7. その他

定例会

毎月1回 理事長と事務局職員で進捗状況を確認。

# 第9期 決算報告書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

大阪府箕面市桜2丁目8番10号

特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

法人名： 特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

## 貸借対照表

令和6年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	9,324,625		
未収入金	3,374,800		
流動資産合計		12,699,425	
2. 固定資産			
有形固定資産			
器具備品	888,122		
無形固定資産			
ソフトウェア	881,834		
固定資産合計		1,769,956	
資産合計			14,469,381
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払費用	3,063,090		
前受金	262,000		
預り金	149,811		
未払法人税等	411,700		
未払消費税等	994,800		
流動負債合計		4,881,401	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			4,881,401
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		8,525,435	
当期正味財産増減額		1,062,545	
正味財産合計			9,587,980
負債及び正味財産合計			14,469,381

法人名： 特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

## 活動計算書

令和5年 4月 1日 ~ 令和6年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	227,000	227,000	
2. 事業収益			
自主事業収益			
研修参加費	30,000		
その他自主事業	3,424,930		
受託事業収益	40,506,400	43,961,330	
3. その他収益			
受取利息	40		
雑収益	4,200	4,240	
経常収益計			44,192,570
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	35,074,000		
法定福利費	553,948		
人件費計	35,627,948		
(2) その他経費			
減価償却費	443,394		
諸謝金	528,909		
印刷製本費	226,997		
旅費交通費	198,334		
通信運搬費	148,152		
消耗品費	149,748		
租税公課	2,026,700		
雑費	1,135,413		
その他経費計	4,857,647		
事業費計		40,485,595	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	619,000		
給料手当	833,408		
賞与	100,000		
退職金	270,000		
退職給付費用	60,000		
人件費計	1,882,408		
(2) その他経費			
減価償却費	135,960		
諸謝金	90,000		
印刷製本費	5,295		
旅費交通費	48,270		
通信運搬費	344		
租税公課	1,400		
雑費	120,753		
その他経費計	402,022		
管理費計		2,284,430	
経常費用計			42,770,025
税引前当期正味財産増減額			1,422,545
法人税、住民税及び事業税			360,000
当期正味財産増減額			1,062,545
前期繰越正味財産額			8,525,435
次期繰越正味財産額			9,587,980



## 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日 一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	相談事業費	普及啓発事業費	人材養成事業費	調査研究事業費	合計
(1) 人件費					
給料手当	35,074,000				35,074,000
法定福利費	553,948				553,948
人件費計	35,627,948	0	0	0	35,627,948
(2) その他経費					
減価償却費				443,394	443,394
諸謝金	500,000		28,909		528,909
印刷製本費	149,502	77,495			226,997
旅費交通費			198,334		198,334
通信運搬費	143,302	1,230	3,620		148,152
消耗品費	149,748				149,748
租税公課	2,026,700				2,026,700
雑費	748,762	342,122	44,529		1,135,413
その他経費計	3,718,014	420,847	275,392	443,394	4,857,647
合 計	39,345,962	420,847	275,392	443,394	40,485,595

法人名： 特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

## 財産目録

令和6年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金			
現金	48,161		
りそな銀行	4,191,619		
あおぞら銀行	5,084,845		
未収入金			
受託事業収益	3,374,800		
<b>流動資産合計</b>		12,699,425	
<b>2. 固定資産</b>			
有形固定資産			
器具備品	888,122		
無形固定資産			
ソフトウェア	881,834		
<b>固定資産合計</b>		1,769,956	
<b>資産合計</b>			14,469,381
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払費用			
役員報酬	39,000		
給料手当	2,932,868		
社会保険料	80,717		
健診費用	10,505		
前受金			
令和6年度 会費	262,000		
預り金			
社会保険料	36,492		
源泉所得税	101,819		
住民税	11,500		
未払法人税等	411,700		
未払消費税等	994,800		
<b>流動負債合計</b>		4,881,401	
<b>2. 固定負債</b>			
<b>固定負債合計</b>		0	
<b>負債合計</b>			4,881,401
<b>正味財産</b>			9,587,980

法人名： 特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

## 損益計算書

令和5年 4月 1日 ～ 令和6年 3月 31日 まで


(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
<b>1. 事業収益</b>			
自主事業収益			
その他自主事業	3,424,930		
受託事業収益	40,506,400	43,931,330	
<b>2. その他収益</b>			
受取利息	40		
雑収益	4,200	4,240	
<b>経常収益計</b>			43,935,570
<b>II 経常費用</b>			
<b>1. 事業費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
給料手当	35,074,000		
法定福利費	553,948		
<b>人件費計</b>	<b>35,627,948</b>		
<b>(2) その他経費</b>			
減価償却費	443,394		
諸謝金	528,909		
印刷製本費	226,997		
旅費交通費	198,334		
通信運搬費	148,152		
消耗品費	149,748		
租税公課	2,026,700		
雑費	897,813		
<b>その他経費計</b>	<b>4,620,047</b>		
<b>事業費計</b>		40,247,995	
<b>2. 管理費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
役員報酬	619,000		
給料手当	833,408		
賞与	100,000		
退職金	270,000		
退職給付費用	60,000		
<b>人件費計</b>	<b>1,882,408</b>		
<b>(2) その他経費</b>			
減価償却費	135,960		
諸謝金	90,000		
印刷製本費	5,295		
旅費交通費	48,270		
通信運搬費	344		
租税公課	1,400		
雑費	120,753		
<b>その他経費計</b>	<b>402,022</b>		
<b>管理費計</b>		2,284,430	
<b>経常費用計</b>			42,532,425
<b>税引前当期純利益</b>			1,403,145
<b>法人税、住民税及び事業税</b>			360,000
<b>当期純利益</b>			1,043,145

# 会計監査報告書

令和6年5月14日

NPO 法人 小児救急医療サポートネットワーク  
理事長 福井 聖子殿

監事 岩下 由美子 

特定非営利活動法人小児救急医療サポートネットワーク定款第5章第22条の規定に基づき、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）決算報告書について令和6年5月14日現在及び同日を持って終了とする年度の会計状況と業務執行状況の監査を行った。

この監査は、証拠書類及び諸帳票等を資料として、令和6年度は令和6年5月14日に実施したので、次のとおり報告する。

## 1、 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、帳票及び関係書類の閲覧等、必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席し業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

## 2、 監査意見

収入及び支出については適正に処理されており、業務執行の状況も妥当なものと認める。

以上

# 令和6（2024）年度事業計画書

（2024年4月1日～2025年3月31日）

## 特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

### I. 事業の実施方針

令和6（2024）年度は、次年度に電話相談事業を受託できるよう、引き続き円滑な運営を行うこと、相談技術の向上、入力やデータ処理の充実、大阪府における小児救急医療や子育てに貢献できるよう、他の医療機関との連携や保護者への啓発を展開する。目標は以下の3点に集約する。

- 電話相談事業受託に向けて、相談の充実を図る
- 電話相談の知見を活用し、保護者支援・受け入れ機関との連携を模索する。
- NPO法人としての活動を強化する

### II. 事業の実施に関する事項

#### （1）小児救急等に関する相談事業

##### ①大阪府小児救急電話相談（#8000）事業

【内容】民間会社からの委託を受け、大阪府民を対象に夜間13時間の小児救急電話相談業務を円滑に遂行する。増加した回線数の有効利用についても、検討する。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所において実施。

【実施日時】通年夜間13時間

【事業の対象者】保護者など

【収入】47,052千円（委託料47,052千円）

【支出】47,052千円（人件費43,632千円、謝金500千円、通信費100千円、消耗品費150千円、法定福利費554千円、公租公課2,100千円、雑費16千円）

##### ②相談受付票の電子化事業

【内容】電子化相談受付票の相談員の入力能力向上、事務局のデータ処理能力の向上を目指す。

【実施日時】年間を通じて行う

【事業の対象者】事務局、相談員および相談対象の保護者

【収入】100千円（委託料100千円）

【支出】100千円（人件費100千円）

##### ③データ集計事業

【内容】事務局で月々のデータ集計を行い、委託事業者に報告する。

【実施日時】年間を通じて行う

【事業の対象者】事務局

【収入】100千円（委託料100千円）

【支出】100千円（人件費100千円）

## (2) 普及啓発事業

### ①小児救急電話相談に関する普及啓発事業

【内 容】ホームページの充実に務める。保護者が利用できる動画案内やコラム、相談機関リスト掲載と、会員ページの充実に努める。医師賛助会員を募集する。会報を作成し電話相談の理解を深める。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所において実施。

【実施日時】 通年・会報は年2回

【事業の対象者】 保護者・大阪小児科医会会員・その他小児医療に関わる者・他の電話相談機関

【収 入】 480 千円（委託料 480 千円）

【支 出】 480 千円（通信費 480 千円）

### ②小児救急および家庭力向上に関する講座・講師派遣事業

【内 容】保護者対象の冊子を作成し、講座の方法を検討する。保護者対象の講座を可能な範囲で、そのための講師養成講座を3回予定する。ホームページを通じて啓発内容を提示する。その他、電話相談や保護者の家庭看護力向上に向けた講演・講座に講師を派遣する。

【実施場所】大阪府内公共施設など

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 保護者・小児医療従事者・その他小児医療に関わる者

【収 入】 230 千円（講師謝金 30 千円、助成金 200 千円）

【支 出】 230 千円（印刷製本費 200 千円、賃借費 30 千円）

## (3) 人材養成事業

### ①電話相談員研修事業

【内 容】大阪府#8000 相談員を対象とした電話相談の研修を、WEB も利用して年間5回開催し、その他必要に応じて個別研修を行う。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所・大阪府教育会館など

【実施日時】 6回 土曜午後・平日適宜

【事業の対象者】 電話相談員・その他小児医療に関わる者

【収 入】 240 千円（委託料 240 千円）

【支 出】 240 千円（人件費 100 千円、旅費交通費 30 千円、印刷製本費 30 千円、謝金 40 千円、通信費 10 千円、消耗品費 30 千円）

### ②電話対応スキルアップ研修事業

【内 容】学会のWS を開催する。

【実施場所】第33回外来小児科学会会場（高山）

【実施日時】 年間1回

【事業の対象者】 小児医療従事者

【収 入】 100 千円（参加費 1.5 千円×20 人×1回、委託料 70 千円）

【支 出】 150 千円（旅費交通費 150 千円）

## (4) 調査・研究事業

### ①電話相談内容の分析事業

【内 容】小児救急電話相談実績報告書において、年間の電話相談内容の分析を行い、まとめを作成する。また、相談内容からテーマを設けて分析を行い、学会発表や論文作成を行う。

【実施場所】大阪府小児救急電話相談上本町事務所など

【実施日時】 通年・第33回外来小児科学会会場（高山）

【事業の対象者】 小児医療従事者・その他小児医療に関わる者

【収 入】 92千円（委託料92千円）

【支 出】 92千円（人件費20千円、印刷製本費50千円、消耗品費12千円）

#### ②新生児受け入れ体制整備事業

【内 容】 産婦人科医を対象にした調査結果について論文作成を行う。新生児の診療機関リストの充実を図る。新生児乳児電話相談マニュアルを作成する。

【実施場所】 大阪府小児救急電話相談上本町事務所・さぼネットホームページなど

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 小児医療従事者・産婦人科医会・その他小児医療に関わる者

【収 入】 50千円（冊子収益50千円）

【支 出】 50千円（雑費50千円）

#### ③話中電話検討事業

【内 容】 #8000で受電できない話中電話の件数調査を行い、回線数増加の影響を確認する。調査結果の報告について、学会発表・論文作成を行なう。

【実施場所】 大阪府小児救急電話相談上本町事務所・さぼネットホームページなど

【実施日時】 通年・令和6年度大阪府医師会医学会総会

【事業の対象者】 #8000着信対象者

【収 入】 3,862千円（研究委託費3862千円）

【支 出】 1,844千円（人件費600千円、印刷製本費100千円、通信費500千円、消耗品費100千円、減価償却費444千円、雑費100千円）

### Ⅲ. 事務局管理に関する事項

【内 容】 法人事業運営に必要な事務局作業を行う

【実施場所】 大阪府小児救急電話相談上本町事務所・NPO法人さぼネット事務所など

【実施日時】 通年

【事業の対象者】 NPO法人さぼネットに関わる者

【収 入】 3,565千円（会費216千円、委託料3,349千円）

【支 出】 1,824千円（人件費1,456千円、謝金50千円、旅費交通費50千円、消耗品費30千円、減価償却費136千円、公租公課2千円、雑費100千円）

法人名: 特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

## 活動予算書(案)

令和6年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
正会員受取会費	200,000		
賛助会員受取会費	16,000	216,000	
2. 事業収益			
自主事業収益			
研修参加費	30,000		
その他自主事業	280,000		
受託事業収益	54,813,700		
3. 助成金収益	100,000	55,223,700	
4. その他収益			
受取利息			
<b>経常収益計</b>			55,439,700
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	44,752,700		
法定福利費	554,000		
<b>人件費計</b>	<b>45,306,700</b>		
(2) その他経費			
減価償却費	444,000		
諸謝金	540,000		
旅費交通費	180,000		
印刷製本費	280,000		
通信運搬費	658,000		
消耗品費	292,000		
租税公課	2,100,000		
雑費	206,000		
<b>その他経費計</b>	<b>4,700,000</b>		
<b>事業費計</b>		50,006,700	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	600,000		
給料手当	756,000		
賞与	100,000		
<b>人件費計</b>	<b>1,456,000</b>		
(2) その他経費			
謝金	50,000		
減価償却費	136,000		
雑費	182,750		
<b>その他経費計</b>	<b>368,750</b>		
<b>管理費計</b>		1,824,750	
<b>経常費用計</b>			51,831,450
税引前当期正味財産増減額			3,608,250
法人税、住民税および事業税			1,850,000
当期正味財産増減額			1,758,250
前期繰越正味財産額			9,587,980
次期繰越正味財産額			13,196,230